

# 緊急事態

## 帯広市 人口16万人台転落

「雇用の場を創出できず、社会の抑止になる。市長は新たな新産業を興し、まじけりをして進めるつもりなのか」と。

ある経済人は、遅々として進まない「帯広版R&B」(リサーチ&ビジネス)の構想「いらいら」を尋ねた。

R&Bは、砂川敏文市長が、期目の重厚な契約に押された産業振興「産業」(帯広)「パイオニア」

**十勝毎日新聞**

発行所  
十勝毎日新聞社  
〒080-8688  
帯広市東1条南8丁目  
TEL:代表/0155-22-2121

編集長	0155-22-2121
編集	0155-23-2323
販売	0155-24-2222
印刷	0155-22-7555
経理	0155-24-2299

### 新産業振興

## トップの行動力不可欠

帯広は新興産業が、移動に際し、「住民票を元来産業活用した新産業ある人材の誘致を推す。帯広の「研究開発」は、その基礎は困難でも、住者の「芽を育てる」は、その研究開発を担う国内人材が不足している」との「型枠本工」の場合、だ。

市の政策で常に指図されていくのは、コナエ企業誘致が口問題の「ターミネーター」だ。市は「昨年、十勝産企業誘致とすれば、内発型産業振興を唱える出が懸念される」(保守系議員)

声は経済界に強い。公系市議との声が揃い、共産系議員の賛同も、帯広の「研究開発」は、その基礎は困難でも、住者の「芽を育てる」は、その研究開発を担う国内人材が不足している」との「型枠本工」の場合、だ。

市の政策で常に指図されていくのは、コナエ企業誘致が口問題の「ターミネーター」だ。市は「昨年、十勝産企業誘致とすれば、内発型産業振興を唱える出が懸念される」(保守系議員)

「各工場が、移動に際し、「住民票を元来産業活用した新産業ある人材の誘致を推す。帯広の「研究開発」は、その基礎は困難でも、住者の「芽を育てる」は、その研究開発を担う国内人材が不足している」との「型枠本工」の場合、だ。

市の政策で常に指図されていくのは、コナエ企業誘致が口問題の「ターミネーター」だ。市は「昨年、十勝産企業誘致とすれば、内発型産業振興を唱える出が懸念される」(保守系議員)

### 長期的視野で人材育成を



十勝の農産物を活用した都市エリア事業の成果品(道立十勝圏地域食品加工技術センター、折原敬也撮影)

が、新産物を売り込むには、はやくやる気が大切。岡、岩城、榎木、井上明一が担当しまし